

一年保育について

一四

東京大和郷幼稚園 坂内 三ツ

幼稚園教育は二年が至當であるといふ事は其道の人には知られて居るが、社會の實際を見るに、一年保育を希望して居る人が多數ある事は事實で、大抵の幼稚園は一年保育を餘儀なくさせられて居る。甚だしい所になるに二百名近

くの幼児が全部一年保育を受ける所もある。中には一年も長いこて小學校入學の數ヶ月前になつて入園させる人もある。元よりは等の人の考へ方は小學校入學の準備といふ簡單な考だけで、幼稚園の眞價や目的を知らない爲めで、入園させて其實際を知るに、もつと早くからお願ひすればよかつたに後悔する人が多いのである。

一年保育の子供は年齢が多いだに、先生や園になじむ事も早く、理解力も進んで居るので取扱はやさしいのであるが、何といつても全く知らない建物の内で全く知らない先生に手をまされ、全く知らないお友達と遊ぶのであるか

ら、其幼稚園に融合して先生の手にはいつてしまふ迄には相當の時を要するのである。さうして居る内に長い夏休みになる。九月を思つて居る内に忽ち一年は過ぎてしまふ、忙はし過ぎて子供の心身に及ぼす効果は少いのである。私の園の経験は誠に淺く且つ雜薄な觀察に過ぎないので特に書き立てる程のものではないが、幼稚園の必要さか、期間さか論ぜられる今日、何かの参考にもなればさ次の二三を擧げて御批評を乞ふ次第である。

一、身體の方面

年々感ずる所であるが、四月入園の當時一年保育の組に入學した子供に、既に一ヶ年保育した同年齡の子供を比較して見るに、新入兒の方が身長の高い人が多く太つても居るやうに見えるので、これは大變、一ヶ年保育したのに身體の發育が悪いのではないか心配になる。所が四月末

身體検査をして見て再び驚くのである。即ち身長は高い人もあるが、體重は軽い人が多い。頭が大きくて瘦せて居る人が多い。殊に筋肉のしまり方に於ては遙かに違ふ、二年目の子供は小粒に見えても筋肉に張りがありピチ／＼して見るからに氣持ちがよい。入り交つて診察を受けても、この方は二年目の方でせうこ園醫が申される程で、素人が見てもわかる位である。試に四、五年間の統計をこつて見たのに、高いミ見えた身長も體重も胸圍も全部二年目の子供の方が多かつたので我が事を得たり喜んだ事であつた。

又脊柱の彎曲して居る子供がたまにあるが、多くは一年保育の子供で二年保育の子供には殆んど其例がない。數年前には左彎、右彎の人が多くて驚いた。其原因を考へて見るに、二年保育を受ける人が入園するのはまだ小さいので、それ以前に字をかくミか繪を畫くミかミいふ事は極めて少いので姿勢を悪くする事がない。幼稚園でも注意して姿勢をよくさせるので彎曲する事がないのである。處がもう來年は學校さいふ頃になれば、子供ながらに探究心が起り、兄や姉のある人は殊に字を書いて見たくなり、繪も畫く事に

なる。従つて机による事が多いのであるが、大人が注意しないミ姿勢を正しくしないで書く爲めに、脊柱に狂が來るのかと思はれる。單に前後左右に彎曲しただけなら大した障碍もないかも知れぬが、脊椎個々の連絡の上に異常を來す事があるミするミ、身體全體の上に、又引いては性格の上にも影響する事があるので等閑にされない問題である。脊柱を正しく保つ事が生活全體の上に大に關係のある事を主張されるやうになつたが、まだ／＼研究せねばならぬ事であると思ふ。

尙ほ一年保育の子供は幼稚園に馴れないミいふ點もあるが概して活動量が少い。顔色も悪く活氣に乏しいやうに思はれる。

一、心惹の方面について

性格の強過ぎる子供ミ、弱過ぎる子供ミまじつて居て中庸を得て居る人が少い。

感情の統制がされて居ない子供が多い。

胸口に見えるが、常識的で理論的のものゝ理解があるわけではない。

概念がはいり過ぎて観察力が鈍い。

繪を畫いても立派な繪を書く人が却て一年保育の方に多いが、其繪も自分の内部から出たものでなく、外から入れられた概念で畫くのが多いので、形や色なごもよく出来て居るが、何回も何回も畫く内には眞の力が現はれて来る、自分から觀察してそれを表現するこいふ事がむづかしい。

文字ミか數觀念ミか直接目に見えるものに興味を持つて居るが、自然を楽しむミか自然を觀察するミか、考へて見るミかこいふ、結果の直接あらはれなくて、しかも人ミして大切な所がぬけて居る。

以上は大人の指導の仕方が悪い爲めにさうなるので、直接目に見える所ばかりを見て判斷する爲めで狭い見方をするから来る結果である。例へば熱心な母親が、「幼稚園に通つてから急に悪くなりました。お行儀は悪くなるしいたづらばかり致します」こいはれた事がある。其子供に對して私の觀た處では、入園當時よりも子供らしくなり活動量が大きくなつたので喜んで居たのであつた。母親の理想が子供本位でなく、大人から割出した理想であつた事がわかつた。

かうした幼児の積極的な活動を抑へつけて置くから、幼稚園に來て其壓迫がなくなるミ反撥力のある子供は急に行動が活潑になり、活動が過ぎてはしやぎ出すのである。又彈力の弱い子供は長い間消極的にさせられたので、幼稚園に來ても自發的な活動が出来ず、何事にも興味が持てなくなる。満四、五歳になるミ急に活動量が大きくなるので僅か一ケ年でも性格の上に及ぼす事が非常に大きいのである。

一、其他の點について

全部こいふわけではないが概して二年保育を志願する親は非常に熱心である。家に置いても大して手足まきるにならず一人遊びをする子供を幼稚園に通はずミ、送り迎へる人が必要である。子供だけ出すならよいが大人が時間迄に支度をするのは可なり骨が折れる。費用の點からいつても大變な違である。熱心な親でなければ出来ない筈である。其爲か保護者會ミか講演會ミかこいふ場合の出席は何時も二年保育の人が多い。

一年保育を希望する親の内には神經質で子供の事を考へ過ぎる人が多い。寒くなつたから着物を着せてくれ、暑く

なつたからぬがせてくれ、プランコには乗せないでくれ、砂場にはいつては汚くなる、ミ一々干渉する人が多い。

以上考へて見れば、さうしても幼稚園には二ヶ年は道はして貰ひ度い。お休みをしないで、在籍の年月は長くとも實際に出席しないでは何の效もないのである。生れてからこの方植ゑつけられた色々の僻のある子供を、一年や二年の間に矯正されるものでない事は明かである。幼稚園に入れたのに効果がないミ氣を揉む親は元より、先生の方でも効果の見えない事を氣にしてヤキ／＼する必要はない。教育は一生である。先生が誠意をもつて接して居れば一生の内どこかに現はれて来る事は疑ないのである。

これはあまり卑近な例であり、且つ日頃の主張ミ相反する所であるが、小學校への入學の成績を見るに、二年保育の聲が一年保育より遙かに成績が良い。毎年そうである。特に本年は二年半在園した女兒が三人あつた。何れも一月以後の生れにて身體の發達もおくれ、智能の點も如何に心配して居たのに、結局は三人とも受験して第一希望の小學校に入學する事が出來た。これは全く子ミ親ミ先生ミ三つの熱誠が一つになつた賜であると思ふ。この嬉しさに意を強うした私は、實際のまゝを御紹介して御批評を仰がうミする次第である。